

免許状更新講習時間割について

中学校・高等学校国語科教諭対象：「日本語表現の諸相」

概要	日本文学、日本語学を題材に、日本語表現の諸相を考える。日本文学に関しては、古典文学作品の表現とその背景にある歴史的事象や人間存在との関係性を考察する。日本語学に関しては、大学における文章表現教育の学習項目、指導法、評価法をふまえながら、大学における文章表現教育と高等学校までのそれとのつながりを考える。
講師	川崎 剛志(就実大学人文科学部表現文化学科教授)、中崎 崇(同准教授)、瓦井 裕子(同講師)

日本語表現の諸相		
時間	講義名	担当
09:00～10:00	古典文学の表現と教材としての可能性1	瓦井 裕子
10:10～11:10	古典文学の表現と教材としての可能性2(含試験)	瓦井 裕子
11:20～12:20	古典文学の表現とその背景1	川崎 剛志
13:20～14:20	古典文学の表現とその背景2(含試験)	川崎 剛志
14:30～15:30	高大の文章表現教育のつながり1	中崎 崇
15:40～16:40	高大の文章表現教育のつながり2(含試験)	中崎 崇

中学校・高等学校英語科教諭対象:「発信力を高める方法論と授業実践」

概要	学習指導要領の改訂で外国語科目では、発信型の英語能力の一層の向上が求められている。この講習においては生徒のプレゼンテーション能力とライティング能力の向上のための授業運営、および CLT (Communicative Language Teaching) を利用した授業づくりについて、受講者のワークショップを中心に講習を行っていく。
講師	ジェニファー・スコット(就実大学人文科学部実践英語学科教授)、ローレンス・ダンテ(同教授)、デイヴィッド・タウンゼンド(同講師)

発信力を高める方法論と授業実践		
時間	講義名	担当
09:00～10:00	プレゼンテーションを利用した授業活動1	ローレンス・ダンテ
10:10～11:10	プレゼンテーションを利用した授業活動2	ローレンス・ダンテ
11:20～12:20	プレゼンテーションを利用した授業活動3(含試験)	ローレンス・ダンテ
13:20～14:20	ライティング力の養成(含試験)	ジェニファー・スコット
14:30～15:30	コミュニカティブ・ランゲージ・ティーチング(CLT)を利用した授業づくり1	デイヴィッド・タウンゼンド
15:40～16:40	コミュニカティブ・ランゲージ・ティーチング(CLT)を利用した授業づくり2(含試験)	デイヴィッド・タウンゼンド

中学校社会科教諭・高等学校地理歴史科教諭対象：「地理学・歴史学の資料を読む」

概要	地理・歴史の授業で使用できる教材の開発と、グループ・ワークなどの方法について、身近な素材を用いて解説する。素材の発見法や調査法などについて解説する他、授業内で簡略なグループ・ワークなど実地の作業を行なう。
講師	吉本 勇（就実大学人文科学部総合歴史学科教授）、渡邊 将智（同講師）、三田 智子（同講師）

地理学・歴史学の資料を読む		
時間	講義名	担当
09:00～10:00	地理の資料を読む(1)	吉本 勇
10:10～11:10	地理の資料を読む(2)(含試験)	吉本 勇
11:20～12:20	アジア史の資料を読む(1)	渡邊 将智
13:20～14:20	アジア史の資料を読む(2)(含試験)	渡邊 将智
14:30～15:30	日本史の資料を読む(1)	三田 智子
15:40～16:40	日本史の資料を読む(2)(含試験)	三田 智子

幼稚園教諭対象:「新幼稚園教育要領で育てる幼児の造形表現」

概	本講座では、講義と実技演習をとおして、幼児の造形表現を豊かにするための教師の視点、支援について学びます。前半は、新幼稚園教育要領を活かす「気付き」をキーワードに、保育者としてのあり方を考えます。後半は、乳幼児期の造形表現にみられる発達過程と特性を踏まえ、新幼稚園教育要領で行う幼児の造形活動について「造形展」や「幼小連携」等をキーワードに「表現」であることを再考します。
要	※講習当日は鉛筆, 消しゴム, はさみ, ホチキス, クレヨンをご持参ください
講師	吉田 満穂(就実大学教育学部初等教育学科教授)、藤田 知里(同准教授)

新幼稚園教育要領で育てる幼児の造形表現		
時間	講義名	担当
09:00～10:30	新幼稚園教育要領を活かす「気付き」を考える1	吉田 満穂
10:40～12:10	新幼稚園教育要領を活かす「気付き」を考える2 (含試験)	吉田 満穂
13:10～14:40	新幼稚園教育要領で育てる幼児の造形表現1	藤田 知里
14:50～16:20	新幼稚園教育要領で育てる幼児の造形表現2 (含試験)	藤田 知里

幼稚園教諭対象:「幼児の音楽表現を引き出すコツ」

概要	まず本講座の前半では、新幼稚園教育要領を活かす「気付き」をキーワードに、保育者としてのあり方を考えます。続いて後半は、幼稚園教育要領をふまえて、リズムや歌唱、器楽活動のコツを実践的に学びます。音楽の経験値に関わらず、音や音楽で幼児と関ること、そして幼児の表現を育むことを目指します。
講師	吉田 満穂(就実大学教育学部初等教育学科教授)、安久津 太一(同講師)

幼児の音楽表現を引き出すコツ		
時間	講義名	担当
09:00～10:30	新幼稚園教育要領を活かす「気付き」を考える1	吉田 満穂
10:40～12:10	新幼稚園教育要領を活かす「気付き」を考える2 (含試験)	吉田 満穂
13:10～14:40	幼児の音楽表現を引き出すコツ1	安久津 太一
14:50～16:20	幼児の音楽表現を引き出すコツ2(含試験)	安久津 太一

小学校教諭対象:「ねらいのはっきりした、「読む」授業の作り方」

概	本講座の前半では、『学習指導要領』の改訂のポイントと背景をふまえ、「学校防災・減災のためのアクティブ・ラーニング」と「健康・幸福感から考える学校園のカリキュラムマネジメント」について考えます。後半では、文学的文章、説明的文章のそれぞれについて、どのような読む力を身につけさせるのかをはっきりと意識した授業を子ども役になって受けてもらい、授業づくりの基本的な意図と手順を解説します。さらに、その手順に沿って実際に教材を用いて授業案を作成、交流して、そのノウハウを持ち帰ってもらいます。
講師	丹生 裕一（就実大学教育学部初等教育学科教授）、高木 亮（同准教授）、長田 健一（同講師）

ねらいのはっきりした、「読む」授業の作り方		
時間	講義名	担当
09:00～10:30	学校防災・減災のためのアクティブ・ラーニング	長田 健一
10:40～12:10	健康・幸福感から考える学校園のカリキュラムマネジメント(含試験)	高木 亮
13:10～14:40	ねらいのはっきりした、「読む」授業の作り方1	丹生 裕一
14:50～16:20	ねらいのはっきりした、「読む」授業の作り方2 (含試験)	丹生 裕一

小学校教諭対象：「新学習指導要領が求める算数科の授業づくり」

概要	本講座の前半では、『学習指導要領』の改訂のポイントと背景をふまえ、「学校防災・減災のためのアクティブ・ラーニング」と「健康・幸福感から考える学校園のカリキュラムマネジメント」について考えます。後半では、具体的な実践事例を基に、新学習指導要領が目指す主体的・対話的で深い学びを実現する算数科の授業について考えます。
講師	楠 博文(就実大学教育学部初等教育学科准教授)、高木 亮(同准教授)、長田 健一(同講師)

新学習指導要領が求める算数科の授業づくり		
時間	講義名	担当
09:00～10:30	学校防災・減災のためのアクティブ・ラーニング	長田 健一
10:40～12:10	健康・幸福感から考える学校園のカリキュラムマネジメント(含試験)	高木 亮
13:10～14:40	新学習指導要領が求める算数科の授業づくり1	楠 博文
14:50～16:20	新学習指導要領が求める算数科の授業づくり2 (含試験)	楠 博文

小学校教諭対象:「新学習指導要領で行う楽しい理科授業のヒント」

概	本講座の前半では、『学習指導要領』の改訂のポイントと背景をふまえ、「学校防災・減災のためのアクティブ・ラーニング」と「健康・幸福感から考える学校園のカリキュラムマネジメント」について考えます。後半では、教師自身が理科を好きになることを第一義的目標とし、楽しい実験やものづくりを体験してもらいます。また、問題解決的な授業の流れを概観し、どのようにすれば子どもの科学概念を再構成することができるか考えていきます。さらに、教科書にあるのに失敗しやすい実験について取り上げ、小学校理科授業の基本的な技能を習得できるようにします。
講師	福井 広和(就実大学教育学部初等教育学科教授)、高木 亮(同准教授)、長田 健一(同講師)

新学習指導要領で行う楽しい理科授業のヒント		
時間	講義名	担当
09:00～10:30	学校防災・減災のためのアクティブ・ラーニング	長田 健一
10:40～12:10	健康・幸福感から考える学校園のカリキュラムマネジメント(含試験)	高木 亮
13:10～14:40	新学習指導要領で行う楽しい理科授業のヒント1	福井 広和
14:50～16:20	新学習指導要領で行う楽しい理科授業のヒント2 (含試験)	福井 広和

特別支援学校教諭・養護教諭対象:「特別支援教育と養護に関する基本的理解」

概要	特別支援教育と養護に関する実践的課題について、健康管理・教育・心理の各側面から理解していくことを目指す。具体的には、①学校場面での発達障害の理解と対応(教育)、②慢性疾患や障がいがある子どもへの援助(養護)、③スクールカウンセラーとの連携のあり方(心理)について考えていく。
講師	岡田 信吾(就実大学教育学部初等教育学科教授)、森口 清美(就実大学教育学部教育心理学科准教授)、井芹 聖文(同講師)

特別支援教育と養護に関する基本的理解		
時間	講義名	担当
09:00～10:00	学校における発達障害の理解と対応1	岡田 信吾
10:10～11:10	学校における発達障害の理解と対応2(含試験)	岡田 信吾
11:20～12:20	慢性疾患や障がいがある子どもへの援助1 (医療的ケアおよび復学支援)	森口 清美
13:20～14:20	慢性疾患や障がいがある子どもへの援助2 (医療的ケアおよび復学支援)(含試験)	森口 清美
14:30～15:30	スクールカウンセラーとの連携1	井芹 聖文
15:40～16:40	スクールカウンセラーとの連携2(含試験)	井芹 聖文